

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年6月30日(2016.6.30)

【公開番号】特開2016-73771(P2016-73771A)

【公開日】平成28年5月12日(2016.5.12)

【年通号数】公開・登録公報2016-028

【出願番号】特願2016-1763(P2016-1763)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月27日(2016.4.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 面側に装着され且つ底面に複数の端子が配列された底面端子型電子部品と、
第 2 面側に装着される複数の個別電子部品と、
を有する電子回路基板を備え、
前記電子回路基板上に前記個別電子部品の情報を示す識別情報が表記された遊技機にお
いて、
前記個別電子部品は、
前記底面端子型電子部品の裏面側の位置以外に装着された第 1 電子部品と、
前記底面端子型電子部品の裏面側の位置に装着された複数の第 2 電子部品と、に構成さ
れ、
前記識別情報は、
前記第 1 電子部品から第 1 距離を介して該第 1 電子部品の近傍に表記された該第 1 電子
部品の情報を示す第 1 識別情報と、
前記複数の第 2 電子部品からなる第 2 電子部品群から前記第 1 距離より長い第 2 距離を
介して、前記底面端子型電子部品の裏面側の位置以外に表記された複数の第 2 識別情報か
らなる第 2 識別情報群と、を有し、
前記第 2 電子部品群の周囲に、部品囲い線が表記され、
前記第 2 識別情報群の周囲に、識別情報囲い線が表記され、
前記部品囲い線と前記識別情報囲い線の間に、引出線が表記されている
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明に係る遊技機は、第１面側に装着され且つ底面に複数の端子が配列された底面端子型電子部品と、第２面側に装着される複数の個別電子部品と、を有する電子回路基板を備え、前記電子回路基板上に前記個別電子部品の情報を示す識別情報が表記された遊技機である。前記個別電子部品は、前記底面端子型電子部品の裏面側の位置以外に装着された第１電子部品と、前記底面端子型電子部品の裏面側の位置に装着された複数の第２電子部品と、に構成され、前記識別情報は、前記第１電子部品から第１距離を介して該第１電子部品の近傍に表記された該第１電子部品の情報を示す第１識別情報と、前記複数の第２電子部品からなる第２電子部品群から前記第１距離より長い第２距離を介して、前記底面端子型電子部品の裏面側の位置以外に表記された複数の第２識別情報からなる第２識別情報群と、を有し、前記第２電子部品群の周囲に、部品囲い線が表記され、前記第２識別情報群の周囲に、識別情報囲い線が表記され、前記部品囲い線と前記識別情報囲い線の間に、引出線が表記されている。

第２電子部品群と第２識別情報群がそれぞれ囲い線で囲われ、引出線によって対応関係が示されるようにすることで電子部品群と識別情報群の対応関係の認識性を高める。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

また遊技機は、電子回路基板上に装着されている複数の電子部品による電子部品群に対応して、個々の電子部品の情報を示すために視認可能に表記された複数の識別情報から成る識別情報群を有し、前記識別情報群では、対応する前記電子部品群における各電子部品の配置関係と同じ配置関係で前記識別情報が表記された電子回路基板が取り付けられている。

識別情報群の各識別情報を、対応する電子部品群における複数の電子部品の配置関係と同じ配置関係で表記することで、それぞれの識別情報と電子部品の対応関係が明確に把握できるようにする。

また遊技機においては、対応関係にある前記電子部品群と前記識別情報群のそれぞれに対して、対応関係を示す対応マーカが表記されていることが考えられる。

電子部品群と識別情報群のそれぞれに対して対応マーカが表記されることで、電子部品群と識別情報群の対応関係の認識性を高める。

また遊技機においては、前記電子回路基板は、識別情報を形成する文字の上下方向が、遊技機本体の上下方向とは逆方向とならない状態で、遊技機に取り付けられていることが考えられる。これにより遊技機に装着された状態での識別情報の視認性を高める。